

Doc. No.: NR050902

2005年9月2日

フルカラーのバリアブルインクジェット印刷機「Truepress Jet520」を開発 ～高い次元での生産性と品質の両立を実現～

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(カンパニー社長：垣内 永次)は、バリアブル印刷の多様なニーズに対応するフルカラーバリアブルインクジェット印刷機「Truepress Jet520(トゥループレス ジェット 520)」を、2005年9月9日から15日まで米国・シカゴで開催される総合印刷機材展「PRINT05」で、世界に先駆けて参考出品します。

近年印刷業界では、顧客一人一人に合わせた高付加価値印刷物の需要が急激に増加しており、顧客データベースに基づくパーソナル対応のカタログ、ダイレクトメール、フルカラーの請求明細書など、さまざまな形態のバリアブル印刷への対応が急務となっています。当社は、このようなニーズに対応するため、生産性、印刷品質、ランニングコストなど、優れたトータルバランスを持つバリアブル印刷システム「Truepress Jet520」を開発しました。

この装置は、高品位カラーマネージメントや高速画像処理など当社が培ってきたプリプレス技術と、最新のインクジェットプリント技術を融合させたフルカラー対応のバリアブルインクジェット印刷機です。品質、信頼性で定評のあるセイコーエプソン株式会社製ピエゾDODインクジェットヘッド*の採用により、従来の業務用プリンターを超える高品質、高速印刷、低コストを実現します。さらに、ロール紙による紙供給方式を採用しているため、大量印刷にも柔軟に対応できます。また、安定した印刷を供給するQC(Quality Control)用スキャナーを採用するなど、メンテナンス性にも優れた次世代のデジタル印刷機となっています。

当社は、今回の「Truepress Jet520」の発売により、オンデマンド印刷およびバリアブル印刷市場での新たなビジネスチャンスの創出に貢献するとともに、デジタル印刷業界のリーディングカンパニーを目指します。

* この装置は、2005年10月4日から8日まで東京・有明「東京ビッグサイト」で開催される展示会「JGAS2005」でも実機を展示します。

※ ピエゾDODインクジェットヘッド

噴射ノズルにピエゾ素子を利用したDOD(Drop-on-demand)方式のインクジェットヘッド。信頼性が高く、美しい印字が可能。

<国内希望販売価格(消費税別)>

未定

<販売開始日>

2006年4月中旬

<年間販売予定台数>

12台



Truepress Jet520

☆ この画像の印刷用データ(解像度300dpi)は、下記URLよりダウンロードできます。

(http://www.screen.co.jp/ga_dtp/press/pressJ.html)

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 営業統轄部 営業企画部 営業企画課：
Tel 075-414-7610 Fax 075-414-7608 〒 602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目

<特長>

1. プリプレス技術と最新インクジェットプリント技術を融合

最新のインクジェット方式の印刷技術と、高品位なカラーマネージメントや高速画像処理で定評のある当社のプリプレス技術を融合しました。

2. 多階調印字により高画質を実現

各カラーを1ドロップレット4階調(2bits)の多階調で印字。物理解像度の2倍に相当する階調表現を持つ高品質な印刷を実現します。

3. 高速印刷

短期間に数十万ページ以上という速度が要求される請求書明細などの印刷業務にも、余裕を持って対応できる印刷速度を実現しました。

4. ピエゾDODインクジェットヘッドを搭載

インクジェットヘッドには、品質、信頼性に定評のあるセイコーエプソン株式会社製ピエゾDODヘッドを採用。各色間のピッチが短いヘッド配置の採用により、精度の高い印刷を実現します。

5. 耐水性、耐光性の高い水性顔料インクの使用

インクに水性顔料インクを使用し、高いレベルの耐水性、耐光性を実現。普通紙やノンコート紙でも、発色の良い高品質な仕上がりを実現します。

6. 印字スピードを自動調整

データ処理の状況に合わせて自動的に印字スピードを調整します。

7. イージーメンテナンス

安定した印刷を実現するQC (Quality Control)用スキャナーを搭載。インクジェットヘッドの補正やクリーニングを容易に実行できます。また、インクカートリッジの交換も簡単に行えるため、印刷時間のロスを最小限に抑えることが可能です。

8. イージーオペレーション

タッチパネル式の操作画面を採用。直感的に理解できるインターフェースにより、操作ミスによる印刷トラブルを防ぎます。

9. モジュール設計

印刷ユニットとロール紙の巻き出し／巻き取りユニットを分離。多様な後工程とのインライン接続が可能です。

10. 「Trueflownet」との連携

プリントビジネス・ソリューション「Trueflownet」との連携により、さらなる高効率、高生産性を実現する印刷システムの提供を図る予定です。

● 本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社

メディアテクノロジーカンパニー

営業統轄部 営業企画部 営業企画課

Tel 075-414-7610 Fax 075-414-7608

〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1